

若林 ひろき 議員 (公明)



子どもの発達相談について

子ども発達相談室は広く専門的な相談ができるが、予約が取りづら... 相談までの待機期間の解消、相談件数の増加を図る取組は。

心理士を加配するなど相談体制を強化するとともに、初回相談までの待機期間の解消を図るため時間の調整を行い、1日の相談件数を増やせるよう取り組んでいる。

今後の障がい児者施策について

全国に先駆けて障がい者施策を開始した品川区として、障がいのある方や団体へのメッセージは。

障害のある方々が活躍あるいは行動できる場、そして機会を保障していくことが大事だ。そのために区議会議員や区民の方々のお知恵を拝借しながら、福祉の充実に努

高齢期の健康について

健康づくりや介護予防事業に参加された方の体力測定など、効果の見える化についての考えは。

運動系介護予防事業に参加された方へ、開始時と終了時に体力測定の結果を渡すことで、やる気を促進する効果があると考えている。

認知症施策について

認知症サポーターはどのような活動を行っているか。

養成講座の講師や認知症カフェの開催など、地域で活動している。高齢者の通いの場合は住民主体による活動となるが、特色ある通いの場への考えは。

社会参加による孤立の解消等が、認知症予防に効果があると考えている。特色ある活動が展開されていくよう、必要な支援をしていく。

コロナ禍、自宅療養者の医療について

必要とする自宅療養者へ診察、診断、治療という一連の診療行為を提供する仕組みが必要だ。自宅療養者への医療提供の仕組みは。

保健所が連日療養中の患者の体調を確認し、症状や病態に応じた医療につなげている。

西本 たか子 議員 (無所属)



コロナ禍における区政運営について

品川区で何が起きているのか。具体的な対策の公表で行動変容に繋がる。強いメッセージが必要だ。

感染状況を分析・評価して感染症対策へ反映し、区ホームページで毎週最新情報を公表している。

医師会、薬剤師会及び歯科医師会の強固な協力体制は不可欠。

情報を共有し、オンライン診療や往診体制整備等密に連携していく。徹底した検査が必要。検査体制の充実を。

定期的な検査をする予定はない。ワクチン接種における諸問題と対策について

年齢別における接種目標、時期は目標値は定めていない。最終的に80%を超える接種率と予測、11月

を目的に接種できる。ワクチン接種後の抗体検査の体制が必要。

今後の知見など注視する。子ども施策について

校外オンライン授業は教育格差に繋がる。公平な教育環境を。携帯電話回線の通信機能で自宅における環境に問題はない。

品川区の特徴を生かした児童相談所の運営へ。「家庭養育優先の理念」を踏まえ、区内の多様な資源を生かし、子育て・親育ちを支援する体制を構築する。

住民主体のまちづくりと安心・安全な街へ

住民との合意形成を主眼に置いた品川区まちづくりマスタープランの改正へ。

地域の合意形成が一層円滑に進むよう取り組む。

水害視点の防災対策の運用を。激甚化する風水害に備え進める。

固定化回避検討会の羽田新経路はA・C滑走路着陸が前提で品川区上空のルートだ。ルートを明確に示すべき。

区としても具体的な方策が早急に示されるよう国に求めていく。

中塚 亮 議員 (共産)



各地で頻発する豪雨災害

区民の命を守る対策強化を

災害で自宅を失い避難生活を余儀なくされた方に、ホテルを避難場所として借り上げ、学校等から移動する計画の作成を求める。

区有施設での避難生活を基本と考えており、ホテル利用は区有施設での受入れができない場合の補完的な利用を想定している。

区のアンケート調査にも「急ぐ必要なし」の声

区民不在で進める、JR開発のための超高層新庁舎は中止を

コロナ禍の中、困窮する区民等への支援の充実が急がれているのに、40億円もの税金をかけ、新庁舎建設をいま進めるとは間違っている。新庁舎建設をコロナ禍で進めるのは、やめること。いかがか。

意見フォームで現在集約中の区民の様々なご意見や策定委員会等のご意見を受け、今後よりよい庁舎となるよう計画を進めていく。

「ツープロック禁止」「肩より長い髪を下ろしたまま禁止」「下着は白」など、中学校の理不尽な校則は見直しを

今年ツープロック禁止をやめた一部の区立中学の校則変更について、校長会で具体的な改善例として情報共有し全校で見直ししてほしい。

校則の見直しの詳細については、生活指導主任会で情報共有しており、各学校がその実態を踏まえ自律的に定めるものと理解している。

なぜ女子の「肩より長い髪を下ろしたまま」は禁止のままなのか。生徒の学習や運動の際の安全・衛生面への配慮、身だしなみの一つとして束ねることを指導している。

下着の規定も「白の下着」が「白っぽい目立たない下着」に変更、色の指定だけでなく新たに見た目が追加された。中学生の下着の色や見た目を校則で指定することはセフハラだとは思わないのか。

まだ心身の発達の過程である生徒に対する適切な指導であり、セフハラとは別次元と考えている。

せお 麻里 議員 (自・無)



新型コロナウイルス感染症対策について

コロナワクチン3回目接種の準備状況は？

国の動きを注視し、これまでの実施状況や課題を踏まえ、医師会等との協議、検討を進める。

抗体カクテル療法につなげるまでの過程や仕組みは？

現在、リスクの有無により選定した患者情報を都へ提供し病院へ依頼する仕組みと、病院へ保健所が直接調整する方法で運用している。

できる限りリモートワークを取り入れるなど保健所の業務改革は？

コールセンター業務等に関しては今後の検討課題とする。

保育園・幼稚園について

1人でバス送迎している私立幼稚園はあるか、送迎バスに関するマ

ニユアルはあるのか？

必ず2人以上の職員が乗車している。マニユアルは区が随時確認を行っている。マニユアルのない園は、作成を働きかけていく。

ヒヤリハット事例は全て報告を義務づけ、それを品川区内で閲覧できるシステムを構築してほしい。

各園相互の情報共有は、今後その手法などを検討していく。

区立保育園の民営化について。医療的ケア児の受入れは？区立園・私立園の棲み分け・役割分担などの方向性は？

民営化後も医療的ケア児の受入れができるように体制の準備を進めている。今後も区立・私立連携しながら保育の質の向上に努める。

居場所について

医療的ケア児支援法を受けてさまざまなスクールの今後の運営は？

医療的ケア児の受入れを検討する。すまいるスクールでの長期休暇中の昼食に仕出し弁当を購入できるように検討してほしい。

日々児童の顔ぶれが異なるため、健康管理やアレルギー対応など実施に向けては課題が多い。